

高次脳機能障害者の 復職におけるアセスメント

はじめに

障害者職業総合センター職業センターにおいては、休職中の高次脳機能障害者を対象とした職場復帰支援プログラム、就職を目指す高次脳機能障害者を対象とした就職支援プログラムの実施を通じ、障害特性に起因する職業的課題の把握と補完行動の獲得、作業遂行力や自己管理能力の向上、及び職業的課題に対する自己理解の促進に資する支援技法の開発を進めています。

高次脳機能障害者の復職支援の際は、休職者と事業主双方の支援ニーズを把握し、助言・支援を行うことが必要です。そのため、幅広い情報収集と支援課題の把握、これらに基づく支援方針の策定、休職者や事業主との情報共有などを、職場復帰期限に遅れることなく計画的かつ確実にを行うことが求められます。

本報告書では、高次脳機能障害者の復職支援における、アセスメントから支援方針の策定、その後の事業主支援などにおいて用いる各種ツールを整備し、その体系的活用方法についての解説と説明を行っています。なお、本支援技法による事例について、今後も継続的に蓄積を行い、その結果を基に有効性の向上に努めていく予定としています。

本報告書の作成にあたり、神奈川リハビリテーション病院、特定非営利活動法人高次脳機能障害者支援 笑い太鼓 高次脳機能障害者支援センター、特定非営利活動法人 クロスジョブ、千葉県千葉リハビリテーションセンター高次脳機能障害支援センターの職員の皆さまから、専門的知見に基づき数多くのご助言を賜りました。深く感謝申し上げます。

本報告書が高次脳機能障害者の就労支援の現場で活用され、職業リハビリテーションサービスの質的向上の一助となれば幸いです。

令和4年3月

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
障害者職業総合センター 職業センター
職業センター長 中村 雅子